昭和62年度(1987) 個展を前提とした作品制作研究(3) 第3回個展・茶絵羅

金城 満

1. 展覧会名:

金城満テンペラ・水彩展

2. 趣旨:

油彩、テンペラ、銀箔の可能性をマンダラや、家具をモチーフに様々な試みを行う。 水彩ではグリッドの中にフリーハンドの線や面を共存させる試みを行う。

3. 材料技法

油彩、テンペラ、銀箔、板

4. 展覧会場

アートギャラリー茶絵羅 (那覇)

5. 展覧会期

1987年07月01日(水)~13日(月) ※13日間

6. 開館時間

11:00~22:00

7. 観覧料金

無料

8. 企画

アートギャラリー茶絵羅

9. 作品リスト

No.	作 品 名	サイズ (cm)	材 料	制作年月	備考
28	夏だのに	100.0 x 73.0 cm	油彩、テンペラ	1987 年	第3回個展
29	椅子	14.0 x 18.0 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987 年	第3回個展
30	テーブルクロス	16.0 x 22.8 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987 年	第3回個展
31	箪笥がダンス	22.5 x 41.0 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987 年	第3回個展
32	ひっくり箪笥	22.5 x 41.0 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987 年	第3回個展
33	シッタカブッタ (金)	45.5 x 45.5 cm	油彩、テンペラ、銀箔、板	1987年	第3回個展
34	シッタカブッタ(銀)	45.5 x 45.5 cm	油彩、テンペラ、銀箔、板	1987年	第3回個展
35	Wind mind 1	36.0 x 36.0 cm	水彩	1987年	第3回個展
36	Wind mind 2	36.0 x 36.0 cm	水彩、コラージュ	1987年	第3回個展
37	テングルタングル	16.0 x 22.8 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987年	第3回個展
38	マチブッタ考え	38.5 x 26.0 cm	水彩、銀箔	1987 年	第3回個展
39	カード化とガード化	26.0 x 26.0 cm	水彩、箔	1987 年	第3回個展
40	作品 1	14.0 x 18.0 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987年	第3回個展
41	作品 2	14.0 x 18.0 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987年	第3回個展
42	作品3	14.0 x 18.0 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987年	第3回個展
43	自動演奏会 1	22.2 x 27.4 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987年	第3回個展
44	自動演奏会 2	22.2 x 27.4 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987年	第3回個展
45	書棚	22.2 x 27.4 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987年	第3回個展
46	鏡	22.2 x 27.4 cm	油彩、テンペラ、銀箔	1987年	第3回個展
47	よこしまな考え 1	38.5 x 26.0 cm	水彩	1987年	第3回個展
48	よこしまな考え 2	38.5 x 26.0 cm	水彩	1987 年	第3回個展
49	シリーズ・みえない音 1	38.0 x 56.2 cm	水彩	1987 年	第3回個展
50	水から自から 1	26.0 x 26.0 cm	水彩	1987 年	第3回個展
51	水から自から2	26.0 x 26.0 cm	水彩	1987年	第3回個展
52	水から自から3	26.0 x 26.0 cm	水彩	1987年	第3回個展
53	水から自から4	26.0 x 26.0 cm	水彩	1987 年	第3回個展

10. 関連イベント

なし

11. 考察(報道等資料) (p. 19)

(1)沖縄タイムス昭和62年08月2日 7月美術月評/中世的な情感

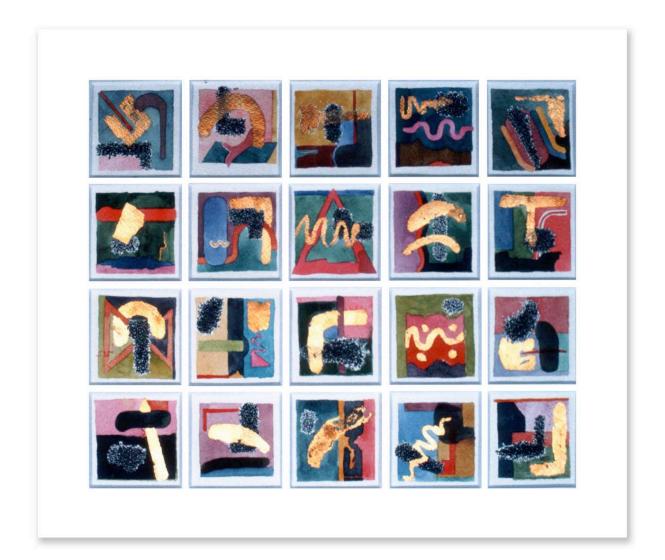
(琉球大学教授/稲嶺成祚)







WIND MIND 1 ,2 各 36. 0x36. 0cm 1987年 水彩





マチブッタ考え 38.5x26.0cm 1987年 水彩、銀箔

作品 1,2,3 各 18.0x14.0cm 1987年 油彩、テンペラ、銀箔



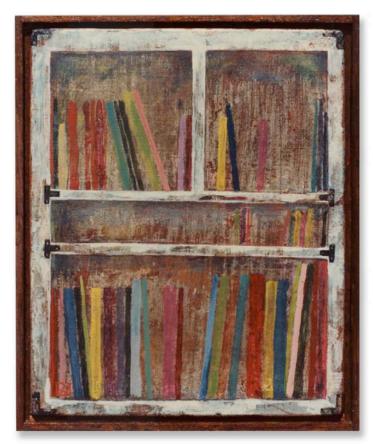








よこしまな考え 1,2 各 38.5x26.0cm 1987年 水彩



書棚 27.4x22.2cm 1987年 油彩、テンペラ、銀箔















テーブルクロス 22.8x16.0cm 1987年 油彩、テンペラ、銀箔



テングルタングル 16.0x22.8cm 1987年 油彩、テンペラ、銀箔



椅子 18.0x14.0cm 1987年 油彩、テンペラ、銀箔



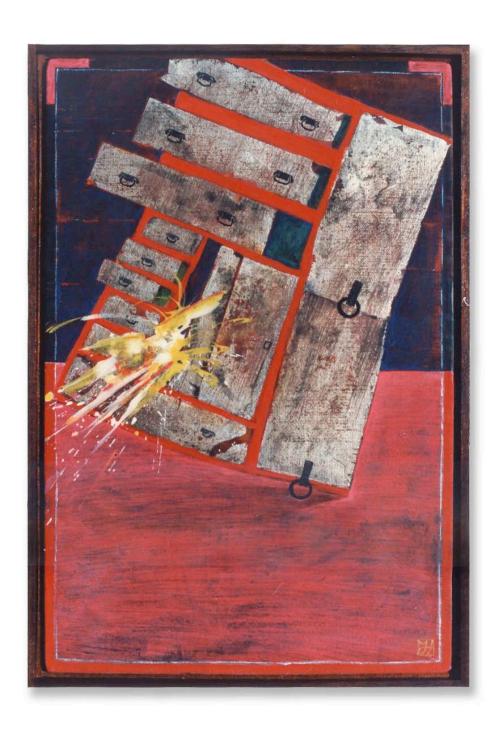
鏡 27.4x22.2cm 1987年 油彩、テンペラ、銀箔



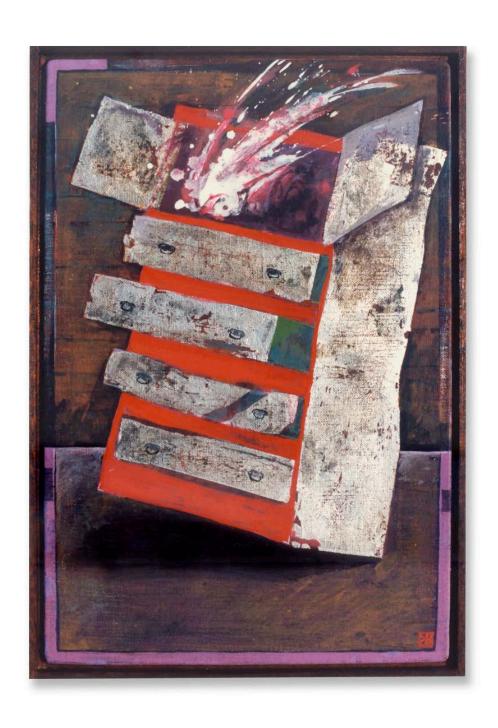
自動演奏会 1 22.2x27.4cm 1987年 油彩、テンペラ、銀箔



自動演奏会2 22.2x27.4cm 1987年 油彩、テンペラ、銀箔



ひっくり箪笥 41.0x22.5cm 1987年 油彩、テンペラ、銀箔





沖縄タイムス

昭和62 (1987) 年08月02日

みた例といえよう。

と写実性との調和的な一致を一空間が主題になっていく。ことがあった。 ったりするのである。現代性

能が描かれて、あとは周りの

融合をはかる

桑江良郎個族な

れらの作品は一つ一つが独立

昼の太陽に輝く交通標識であ

ったり、夜景を背景にした真。而から遠のいていく。初めは、始に執着を示す宮里友三個 思で描かれた真昼の情景であ

分と影のみを残して次第に画

描写力を示した北村英子展。 公の上の景色であったり、

白

たが、それらのものたちは部

た新城征孝医、静物に確かな

ものが描かれ、部分が描かれ、

展、立体派的手法と写実との

のひずんだ世界であったり、り、コップであったりするの 写す。それらはカープミラー たり、チェスのこまであった

かつての力作の数々を展示し

他に画集出版記念として、

な描写で仕掛けられた状況を それらはポップコーンであっ は出色の出来といえよう。

【第四回川平東進展】硬質な精密な描写を繰り広げる。

の小画面に気の違くなるよううな世界を表出した。今回の

金城地子の黒光りのする作品

れの作家である。九×十一た

わり、砂川喜世も藍染めのよ

ク・シャイステはイラン生まの図柄を見るような抽象に変

【舎伊泰達個展】ファロッ 精密な描写

ト的女性優から一転して染め 処理し、玉城美智子はイラス 海を横長の画面に日本画風に 開かれた。宮良瑛子は渦巻く



今回

になりそうである。 てくる。その点が今後の課題

現代性と写実性

それだけ現代性どの難反がで 的な古さに支えられており、 た。ただこの強い情感は中世で光った。